

デイサービス便り



令和6年4月号

墨田区社会福祉事業団 <https://sumida-jigyodan.or.jp>

発行日: 令和6年4月1日発行 第240号

発行元: すみだ福祉保健センターデイサービス

～ 新年度のご挨拶 ～

今年の冬は暖冬と言われていましたが、東京でも3月に雪が降った日があるなど、気候が不安定でした。ご利用者の皆様は、体調を崩されたりしていないでしょうか。

さて、今年も桜の季節になり、皆様とともに新たな気持ちで、新年度を迎えることができました。

昨年の5月から、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が変更され、少しずつセンターのデイサービスでも以前のような活動ができつつあります。

引き続き、必要な感染対策は行いながら、ご利用者の皆様一人ひとりの目標を達成できるようなリハビリ等を進めていくとともに、外出活動や季節を感じる事ができる行事なども、状況をみながら行ってまいります。

今後も、皆様が地域の中で自分らしく生きがいをもって生活ができるよう、職員一同皆様と一緒に頑張っておりますので、今年度もよろしくお祈りいたします。

リハビリテーション部長
平井 徹



❀ 退職のお知らせ ❀

3月31日付で退職することとなりました。皆さまのおかげで35年6カ月間勤めることができました。心から感謝申し上げます。これからもデイサービスの益々の発展と、ご利用者様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、退職のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

前機能訓練課長
西野嘉聖



今月のカレンダー

今月のカレンダーは「唱歌を描く」がテーマとなっています。春の唱歌から、ご自身で歌を選んでもらい、イメージから絵を書き起こしています。なかなか絵にすることが出来ず、皆さん苦戦していましたが、それぞれ素敵な絵が出来上がりました。



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20



高次脳機能障害グループ訓練

国立西洋美術館への外出

2月28日(水)、高次脳機能障害グループ訓練にて国立西洋美術館に行きました。天気にも恵まれ鑑賞会日和となりました。

展示された絵画の中で、お気に入りの絵画を見つけた方もいらっしゃいました。新たな発見は、良い刺激になりますね。



高次脳機能障害当事者の集い

3月9日(土)14時から15時30分、徳島県在住の高次脳機能障害当事者の方をオンラインでゲストとしてお招きし、座談会を開催しました。



日々の事やこれからの自分について会話が盛り上がりました。徳島と東京を結び距離を超えて関わり合う事の出来た、楽しい時間となりました。

新型コロナウイルスの扱いについて

令和5年5月より新型コロナ感染症が5類扱いとなりました。当デイサービスでは高齢者の利用するハイリスク施設ということで行っていた対策を、4月からは少しずつ緩和します。

ご協力お願いいたします。

●コロナ感染症に感染した場合の利用について

本人の場合→ 医師の指示に従って下さい。指示がない場合は5日間の休みをお願いいたします。

同居家族の場合→ 本人に症状がなければ利用できます。家族が感染したことはご連絡ください。

●マスクについて

高齢者の利用するハイリスク施設のため、引き続きマスクの着用をお願いいたします。

手洗いなど、ご自宅での感染予防も併せて継続して下さい。



お花見散布へ行きました

今年は、桜の開花が遅れましたが、すみだ福祉保健センター周辺もようやくつぼみがほころび始めました。楽しみに待っていた利用者さんもあり、天気の良い日は外に出てお花見散歩を楽しんでいます。

これから満開になるのが楽しみです。



令和6年度

介護保険制度改正について

令和6年3月31日までに、感染対策、虐待防止対策、業務継続計画策定についての対応やハラスメント対策を進めることが求められていたことに伴い、当デイサービスでも、一層対策を講じていくことにしています。

また、令和6年度は介護保険の制度改正報酬

改定が予定されています。これらの内容を記載した、新しい重要事項説明書を作成していますので、ご確認いただき、署名の上、一部をご提出下さい。



今月のイラスト

今月のイラストは、ご利用中の宇佐美彰さんが書いたイラストです。春が旬のイチゴを書いてくださいました。宇佐美さんは、麻痺のため、利き手ではない左手で絵を描いています。



【編集後記】春は出会いと別れの季節です。特にこの春は、35年間勤めた西野前課長が退職され、新しく佐藤課長が誕生しました。西野前課長は準備室から勤め、センターの発展に多大な寄与をされました。器用な木工づくりで、各部屋にある立ち上がりの訓練台などが、彼の手作りでした。皆さまも彼の支援で住み慣れた地域での生活を継続してきた方も多いでしょう。

新しい職員が勤務開始になります。フレッシュな気持ちで、皆さまの支援を継続していきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(編集長 RT)